

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2022年12月分)

2023年1月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH下院の発足\(1日\)](#)

●[BH憲法裁判所によるボン・パワー行使の合憲性判断\(1日～2日\)](#)

●[BH憲法裁判所によるRS薬事法の違憲判決\(2日\)](#)

●[HDZ・SNSD及びボシュニャク系8政党連合の連立合意\(15日\)](#)

●[クリシュト閣僚評議会議長候補の指名承認\(28日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[BH連邦下院の発足\(1日\)](#)

イ スルプスカ共和国

●[RS政府の発足\(21日\)](#)

●[RS資産登記関連法の採択\(29日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BHへのEU加盟候補国の地位付与決定\(15日\)](#)

(2) 二国間関係

●[アブドラヒアン・イラン外相のBH訪問\(7日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[杵渕駐BH日本大使のツビヤノビッチ大統領評議会議長への信任状奉呈\(28日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH下院の発足(1日)

1日、BH下院の初回会合が実施され、選出議員による宣誓及び議長団の選出が行われた。議長団にはデニス・ズビズディッチ氏(留任、ボシュニャク系。NiP所属)、マリニコ・チャバラ氏(新任、クロアチア系。前BH連邦大統領、HDZ所属)、ネボイシャ・ラドマノビッチ氏(留任、セルビア系。SNSD所属)が選出され、8ヶ月ごとの輪番制に基づき、初回議長をズビズディッチ氏が務め、他2名は副議長となる。

●BH憲法裁判所によるボン・パワー行使の合憲性判断(1日～2日)

ジャフェロビッチ前BH大統領評議会議長及びコムシッチ同クロアチア系メンバーの申し立てを受け、BH憲法裁判所は10月2日のシュミット上級代表による選挙法等改正に係るボン・パワー行使の合憲性判断に係る審議を実施した。

BH憲法裁判所は、今般の申し立てにはボン・パワー行使がもたらす具体的な損害への言及が不足しており、選挙法等改正がBHに修復不可能なまでの害を及ぼすとはいえないとして、合憲性判断要請を却下すると発表した。

●BH憲法裁判所によるRS薬事法の違憲判決(2日)

2日、BH憲法裁判所は、RS薬事法がBH憲法に定める法の支配及びBH法の遵守規定に従っていないとして廃止を決定した。2022年6月28日に発効した同法は、ジャフェロビッチ大統領評議会議長(当時)による申し立てを受け、BH憲法裁判所が同裁判所による違憲性の判断が終了するまで一時差し止める旨決定していたもの。

これを受け、ドディックRS大統領は、引き続

きRS独自の薬事庁創設を目指す述べた。

●ルチッチ人権・難民大臣の逮捕(6日)

6日、BH国家捜査保護庁(SIPA)は、ルチッチ人権・難民大臣(セルビア系、民主人民同盟(DNS)所属)を逮捕した旨発表した。報道によれば、ルチッチ大臣は私的な旅行に公的予算を不正に流用し、警察の警護を伴って公用車を利用したほか、私的な会食等に公的予算を使用した等の疑いが持たれている。同大臣は身柄を拘束され、検察の判断により今後の処遇が決定される見通し。

●HDZ・SNSD及びボシュニャク系8政党連合の連立合意(15日)

15日、HDZ・SNSD・ボシュニャク系8政党連合(SDP、NiP、NSを中心とする)は、国政レベルの今後4年間の政策目標を含む連立合意に署名した。合意文書にはEU加盟に向けた改革、司法改革、安全保障、経済成長等が含まれている。

●クリシュト閣僚評議会議長候補の指名承認(28日)

22日、BH大統領評議会は次期閣僚評議会議長候補の指名に関する臨時会合を開き、クリシュトHDZ副党首(クロアチア系)の指名を賛成2、反対1(コムシッチ・クロアチア系メンバー)で決定した。これを受けて28日にBH下院が指名を承認(賛成23、反対15)し、クリシュト候補の閣僚評議会議長就任が決定した。

この後はクリシュト次期議長による閣僚名簿の提出とBH下院での承認を経て、新閣僚評議会が発足する見込み。なお、女性が閣僚評議会議長に就任するのは初めて。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦下院の発足(1日)

1日、BH連邦下院の初回会合において、議長及び副議長2名の選出が実施された。SDAは候補にボシュニャク系が含まれない点及びBH上院が未発足である点に異議を唱え、選出の延期を主張し、DFもこれに賛同し、審議は中断、翌週の審議再開宣言とともにSDA及びDF所属の議員は議場を去った。しかし、連邦下院規則第5条に基づき、最高齢議員が暫定議長を引き受ける形で審議が継続し、ミリヤナ・マリニコビッチ＝レピッチ議長(セルビア系、NS)、ムラデン・ボシュコビッチ副議長(クロアチア系、HDZ)及びエディナ・ガベラ副議長(その他民族選出、SBiH)の選出が決定した。

イ スルブスカ共和国

●RS政府の発足(21日)

21日、RS議会において臨時会合が実施され、ビシュコビッチ首相候補が提出した閣僚候補名簿が賛成51、反対23で承認され、ビシュコビッチ首相(留任、二期目)を首班とする第17代RS政府が発足した。

●ドガン家族・青年・スポーツ相の辞任(23日)

23日、新任のドガンRS家族・青年・スポーツ相は辞任を表明した。同大臣は過去に交通事故での逮捕・起訴歴があったとされ、就任直後に野党による指摘が行われた後、ドディックRS大統領が辞任を求めているもの。なお、後任は未決定。

●RS資産登記関連法の採択(29日)

29日、RS国民議会において、RS資産登記関連法(公的機関の活動に用いられる不動産関連法)が採択された。

本法律は、公的機関によるRS不動産の一

方的な登記変更を可能とするものであり、2022年2月にも同様の法律が採択されたが、同年4月にシュミット上級代表によるボン・パワー行使で発効が停止され、その後BH憲法裁判所により違憲判決が下されている。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ツビヤノビッチ大統領評議会議長のEU・西バルカンサミット出席(6日)

ツビヤノビッチBH大統領評議会議長(セルビア系)はアルバニアのティラナで開かれたEU・西バルカンサミットに出席し、EU・西バルカン間のローミング手数料引き下げにかかる声明に署名したほか、ボレルEU上級代表及び各国首脳と会談した。

その他、今般会合では、ロシアのウクライナ侵攻による安全保障及びエネルギー危機への悪影響に対する非難、西バルカン諸国のEU加盟及び右に係る国内改革の重要性への言及等を含むティラナ宣言が発出された。

●BHへのEU加盟候補国の地位付与決定(15日)

15日、ブリュッセルで開かれた欧州理事会において、BHへのEU加盟候補国の地位付与が決定された。BH国内要人からは全般的に好意的な反応があった一方、ドディックRS大統領は今般の決定を歓迎しつつ、行政改革等のため、EUに対し200億ユーロの財政支援を求める考えを明らかにした。

(2) 二国間関係

● アブドラヒアン・イラン外相のBH訪問(6日)

6日、アブドラヒアン・イラン外相がBHを訪問した。アブドラヒアン外相はトウルコビッチ外相及びイゼトベゴビッチBH上院副議長(いずれもボシュニャク系)と会談し、両国の友好関係、安全保障情勢等につき意見を交わした。

報道によれば、クロアチア系要人はイランにおける抗議活動をめぐる人権侵害を非難し、アブドラヒアン外相との会談を拒否したとされる。また、理由は明確でないが、シュピリッチBH上院議長及びラドマノビッチBH下院第二副議長(いずれもセルビア系)も、予定されていた会談をキャンセルした。

(3) 日・BH関係

● 杵渕駐BH日本大使のツビヤノビッチ大統領評議会議長への信任状捧呈(28日)

杵渕駐BH日本大使は、ツビヤノビッチ大統領評議会議長に信任状を捧呈した。

杵渕大使は、政治・経済等の幅広い分野の協力を通じ、二国間関係を強化していきたいと表明し、これに対しツビヤノビッチ議長は、我が国からBHへの復興支援に謝意を述べ、二国間の友好関係のさらなる発展及び経済・人的交流の活性化への期待を表明した。



(写真: 杵渕大使とツビヤノビッチ議長)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●GDP成長率

2022年第3四半期(7月～9月)の国内GDP成長率は2.6%であり、季節調整後の値で同年第2四半期から1.4%増加した。

●産業生産指数

2022年11月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比1.6%のプラス、前年同月比で1.2%のプラス。

●雇用／失業率

2022年10月の失業者登録数は35万7,312人(うち女性10万7,300人)で、前月比0.02%プラス。前年同月比で8.3%マイナス。

●平均給与

2022年10月の平均給与(手取り)は1,156KMで、2021年12月比で11%のプラス。

●消費者物価指数

2022年11月の消費者物価指数は前月比+0.2%。また、前年同月比では平均+16.3%の上昇であり、食料品・ノンアルコール飲料は前年同月比で+24.5%の上昇。

(2) 経済政策・公共事業

●ガス供給契約に係る契約延長(28日)

BH連邦向けにガス供給を行っているエネルギー・インベスト社は、露ガスプロム社との間でのガス供給に係る契約を2023年12月31日まで延長した。ガス価格は四半期ごとの見直しとなるが、2023年第1四半期の価格については契約延長時点で未定となっている。

(3) 経済協力

●ブルチュコ港の近代化に係るEBRDとのローン契約(21日)

21日、ベバンダ副首相兼財相とネッスル当地EBRD所長の間で、ブルチュコ河川港(サバ川)の近代化工事に対するローン契約(300万ユーロ規模)の署名が行われた。工事内容には、河川港内部のインフラ修復とともに、道路・鉄道の修復による港のアクセス向上が含まれる。

1913年建設のブルチュコ港は1991年～95年の紛争により操業が停止しており、2001年にイタリア政府の援助で修復と操業再開が実現した。

(4) 民間セクター

●マクドナルドの事業停止(30日)

米国の大手ハンバーガーチェーンのマクドナルドは、フランチャイズライセンスの問題により、12月30日をもってBHにおける事業を停止する旨発表した。報道によれば、BH国内のフランチャイズ契約を結んでいた事業者が、家賃滞納により銀行に店舗を返還するようサラエボ・カントン裁判所から命令を受けたためとされる。

マクドナルドは2011年よりBHに出店。サラエボに3店舗、モスタルに2店舗を展開していた。